

SPring-8 運転・利用状況

公益財団法人高輝度光科学研究センター
研究調整部

◎平成26年9～11月の運転・利用実績

SPring-8は9月24日から11月1日までセベラルバンチ運転で第5サイクルの運転を行い、11月4日から11月29日までセベラルバンチ運転で第6サイクルの運転を実施した。第5～6サイクルではRF各stのCav反射異常によるアボート等による停止があったが、全体としては順調な運転であった。総放射光利用運転時間（ユーザータイム）内での故障等による停止時間（down time）は、第5サイクルは約0.6%、第6サイクルは約0.3%であった。

放射光利用実績については、実施された共同利用研究の実験数は、第5サイクルは合計334件、利用研究者は1,633名で、専用施設利用研究の実験数は合計237件、利用研究者は1,025名であった。第6サイクルは合計268件、利用研究者は1,307名で、専用施設利用研究の実験数は合計207件、利用研究者は881名であった。

1. 装置運転関係

(1) 運転期間

第5サイクル (9/24 (水)～11/1 (土))

第6サイクル (11/4 (火)～11/29 (土))

(2) 運転時間の内訳

第5サイクル

運転時間総計 約911時間

①装置の調整およびマシンスタディ等

約240時間

②放射光利用運転時間 約667時間

③故障等による down time 約4時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム=②+③)

に対する down time の割合 約0.6%

第6サイクル

運転時間総計 約603時間

①装置の調整およびマシンスタディ等

約51時間

②放射光利用運転時間 約550時間

③故障等による down time 約2時間

総放射光利用運転時間(ユーザータイム=②+③)

に対する down time の割合 約0.3%

(3) 運転スペック等

第5サイクル (セベラルバンチ運転)

・4/58-filling + 53 bunches

・1/14-filling + 12 bunches

・203 bunches

・11 bunch train × 29

第6サイクル (セベラルバンチ運転)

・11 bunch train × 29

・1/14-filling + 12 bunches

・11 bunch train × 29

・入射は電流値優先モード (2～3分毎 (マルチバンチ時) もしくは20～40秒毎 (セベラルバンチ時)) の Top-Up モードで実施。

・蓄積電流 8 GeV、～100 mA

(4) 主な down time の原因

・RF 各 st Cav 反射異常

2. 利用関係

(1) 放射光利用実験期間

第5サイクル (10/2 (木)～11/1 (土))

第6サイクル (11/5 (水)～11/29 (土))

(2) ビームライン利用状況

稼働ビームライン

共用ビームライン 26本

専用ビームライン 19本

理研ビームライン 9本

加速器診断ビームライン 2本

第5サイクル

共同利用研究実験数	334件
共同利用研究者数	1,633名
専用施設利用研究実験数	237件
専用施設利用研究者数	1,025名

第6サイクル

共同利用研究実験数	268件
共同利用研究者数	1,307名
専用施設利用研究実験数	207件
専用施設利用研究者数	881名

◎平成26年12月～平成27年1月の運転・利用実績

SPring-8は12月2日から12月19日までセベラルバンチ運転で第7サイクルの運転を実施した。

12月20日から1月12日まで冬期点検調整期間とし、加速器やビームラインに係わる機器の改造・点検作業、電気・冷却設備等の機器の点検作業を行った。

◎今後の予定

SPring-8は1月13日から2月17日までセベラルバンチ運転で第8サイクルの運転を実施する。第7サイクルおよび第8サイクルの運転・利用実績については次号にて掲載する。